

『子供たちが明るい未来を創るために！』



大家友和ドリームツアー 2009

開催企画書

大家友和ドリームツアー2009 実行委員会

## 大家友和ドリームツアー2009



大家友和ドリームツアー 2009

### 大家友和ドリームツアー2009 主催者からのご挨拶

僕自身、小学校の時に「プロ野球選手になる」という夢を抱きました。僕は他の人に比べ、特別に能力があったわけではないと思います。実際、高校時代のほとんどの期間は控え投手で、エースになったのは3年生の最後の大会の前でした。

僕は、夢を強く意識して自分自身を信じていれば、夢は必ず実現できると思っています。小学校の時に抱いた夢が僕の挑戦を支え続けてくれましたし、大人になった今でも夢が自分を支えてくれるのは変わらないことです。

子供たちにとって未来は無限の可能性があります。未来を生きていく子供たちにとって、夢を持つことはどれだけ大事なことでしょうか。夢は人を支え、そして成長させてくれます。

夢を持つこと、そして夢を追い続けることの大切さを、一人でも多くの子供たちに伝えていきたいです。

このドリームツアーを通じて感じることは子供たち一人一人違うと思いますが、未来ある子供たちにこれからの人生を生きていく上で、プラスになることを感じてもらえたら幸いです。今すぐにはわからなくても、後々自分の力になるような気づきの一つでもいいから掴んでもらえたら僕も嬉しく思います。

NPO法人 Field of Dreams

名誉会長 大家 友和

平素はNPO法人フィールド・オブ・ドリームス(以下FOD)に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、世界的に不安定な経済状況の中、FODも大変厳しい運営を強いられてはおりますが、皆様の温かいご理解の上、どのような環境の子供たちにおいても、勉強の楽しさ、スポーツの楽しさを提供するという理念の下、子供たちの笑顔を糧として何とか6年目の活動を迎える事となりました。

また、FODが設立される以前より実行委員会の下で実施されていた大家友和ドリームツアーも9年目を迎え、昨年度はテレビ番組にもなり、各方面で大変な反響を頂きました。この度、実行委員会において今年度の開催を検討し、中にはこのような情勢下において、今年度は見合わせた方が良くのご意見も頂きましたが、去る5月28日に大家選手が見事メジャー復活を果たし、議論の末、今年度もドリームツアーを決行する事と致しました。

元々、FODはドリームツアー「10年100人」を合言葉に今まで進めてまいりましたが、私達は、今後もドリームツアーを通して一人でも多くの子供たちに、夢を追うことの大切さを実感できる機会を提供していきたいと考えております。

つきましては、今後とも倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

NPO法人 Field of Dreams

理事長 中村 豪



大家 友和(おおか ともかず)  
クリーブランド・インディアンズ所属

## 大家友和ドリームツアー2009



大家友和ドリームツアー 2009

### 大家友和ドリームツアー2009 開催の背景

「日本の若者に夢を持って生きてほしい。夢を追い続けてほしい」。

大家友和ドリームツアーは、そんな大家友和の願いから始まりました。

#### 『大家友和の原点』

大家友和(おおかともかず)、33歳。1976年、京都で未熟児として生まれた大家は、幼少期は体が弱く、病気と格闘する日々を送る。8歳の時に両親が離婚し、以後、男ばかりの3人兄弟(大家投手は2男)は母親1人の手で育てられる。家計はお世辞にも楽とは言えず、この経験が大家の人生を決定づけることとなる。運動音痴でスポーツ嫌いだっただが、当時大流行した野球漫画「ドカベン」に触発されて急に「野球をやりたい」と言い出したのは小学校3年生の時だった。大家はこの時、多くの野球少年がそうであるようにプロ選手になることを夢見たが、その理由は他の少年と違ったものであった。

「プロになって家族の暮らしを楽しみたい」

家計を助けたい一心から小学校・中学校と野球を続けた大家は、創設間もない京都成章高校に進学(学費は兄・健一からの援助だった)。健一は、弟を私学に通わせるために、稼ぎの良い職場を求めて転職。学費補助に際し、健一が弟に出した条件がある。

「高校野球の集大成として、プロ野球の入団テストを受けること」

高校入学後、大家は控え投手として野球部時代の大半を過ごす。しかし、控え投手でいる間も、兄との約束、そして自分自身の夢に向かい弛まぬ努力を続けた大家は、高校3年の最後の大会前、遂にエースの座を掴む。

背番号1を背負った最後の大会では惜しくも甲子園出場を逃すものの、大家は兄との約束を果たし、1994年にドラフト3位で横浜ベイスターズに入団することになった。



河川敷で夢を追いかけた小学校時代



最後の夏は京都府予選決勝で敗退

## 大家友和ドリームツアー2009



大家友和ドリームツアー 2009

### 大家友和ドリームツアー2009 開催の背景

#### 『日本球界を後にし、単身米国に』

1994年4月29日、大家は1軍デビュー2戦目にして早くも初勝利を手にする。

順調にスタートした大家のプロ野球人生だったが、日本球界で挙げた勝ち星は、この1勝だけだった。5年間在籍し、1勝2敗。これが、大家の日本球界での公式記録である。そして、1999年春、小さい頃からの夢であったメジャーリーガーを目指して大家は日本球界に別れを告げ、単身海を渡り、メジャーリーグの国、米国へ。

今でこそ、日本で活躍した選手がメジャーに挑戦することは珍しい光景ではなくなったが、1999年といえばイチロー選手も松井秀喜選手もまだ日本におり、当時メジャー入りしていたのは野茂投手や長谷川投手、伊良部投手など、日本で実績を残した一流投手に限られていた。

常識で考えれば、日本でたった1勝しか挙げられなかった投手がメジャーに挑戦することは、多くの人にとって「無謀」に映ったかもしれない。実際、大家が「メジャーを目指して米国に行く」と言った時、周りの反応は冷ややかなものであった。しかし、自分の信念で決断をした大家はそれを意に介さなかった。

#### 『日本で1勝の男が、苦難の道を経てメジャーリーグ1000イニング達成』

米国に渡った大家を待ち構えていたのは、またもや苦難の道であった。英語が分からないのに、通訳もない状況の中、ボストン・レッドソックスのマイナーチームで、文字通り裸一貫からキャリアを再スタート。マイナーリーグでは、破竹の15連勝を記録し、完全試合も達成した。そして、1999年7月、遂に日本人9人目のメジャーリーガーとしてメジャーのマウンドに立つ。ところが、その後もメジャーとマイナーの間を行ったり来たりする生活を強いられる。いくら調子が良くても契約で守られている大物やベテラン選手が優先される——。契約社会の現実と直面し、辛酸をなめた時期でもあった。

移籍した新天地モンリオール・エクスポズでは、先発ローテーションの一角を任せられ、2年連続で2ケタ勝利を手にした。しかし、またしても新たな試練が大家に。

選手として油が乗りかかってきた「これから」という時期に、利き腕に打球を受け、上腕部の骨が3カ所が砕けるという悲運の事故に遭う。「今季絶望」と報じられる中、シーズン中に奇跡のカムバックを果たしたのは、大家の精神力の強さを物語るエピソードの1つである。



横浜ベイスターズに入団 兄(左)と母親(右)と



メジャーリーグに定着したエクスポズ時代

## 大家友和ドリームツアー2009



### 大家友和ドリームツアー2009 開催の背景

大家友和ドリームツアー 2009

その後、ミルウォーキー・ブルージェイズに移籍し、自由に移籍交渉ができるフリーエージェント権を獲得。2006年には、日米を通じて日本人最高年俸投手に。翌年、プレーオフへの出場を期待して強豪トロント・ブルージェイズに移籍するも、不振のためシーズン途中で自由契約、つまり解雇されることになる。

解雇後、メジャー復帰を目指しセントルイス・カーディナルスとシアトル・マリナーズのマイナーを転々とするが、シーズン終盤は渡米以来、初めて自由契約(いわゆる「無職」の状態)の身で過ごすことになる。翌年は、シカゴ・ホワイトソックスと契約したが、結局メジャーに昇格することなく、マイナーでシーズンを終えた。しかし、怪我もなくマイナーで好成績を収めた大家は、2009年、クリーブランド・インディアンスからマイナー契約のオファーを受ける。シーズン序盤は、マイナーでスタートするものの、好投が認められ、2009年5月28日、2年ぶりにメジャーに昇格した。

そして、メジャーリーグ通算1000イニング(投球回)にあと1イニングと迫っていた大家は、5月31日の登板で、1000イニングを達成。

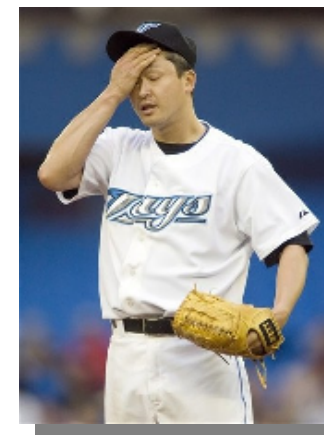
足かけ10年、途中数々の苦難を経験しながら掴んだメジャー通算1000イニング。大家本人としては、通過点かもしれないが、メジャー球界に大きな足跡を残したことは確かな事実である。

#### 『おわりに』

小学生時代にプロ野球選手を夢見てスタートした野球人生。それ以来、大家の挑戦を支え続けてきたのは、夢を追い続ける気持ちに他なりません。

大家友和ドリームツアーでは、大家友和自身が大切にしている「志を高く持ち、夢を追い続けること」の大切さを子供たちに伝えていきます。

(本文は、日経ビジネスONLINE 鈴木友也の米国スポーツビジネス最前線  
米メジャー・大家選手が子供たちに語る「夢」を参照にしたものです。)



シーズン中3度の戦力外通告を受けた2007年



2009年6月 メジャー通算1000イニング達成



### 大家友和ドリームツアー2009 開催趣意

今年で9回目を迎える大家友和ドリームツアーでは、大家選手投球回数1000イニング達成を記念して、「特別企画 大家友和ドリームツアー2009」を開催する運びとなりました。

本企画では、全国の児童養護施設に住む子供たちを大家選手がプレーする米国に招待します。大家選手がプロ野球選手を志したのは小学校時代。今、その同年代の子供たちに大家選手の半生を通じて、「夢を持つこと」の大切さを感じ取ってほしいと思います。

豊かになった現代社会において、物質的に満たされて育った子供たちにとって、夢を持つことは難しいと言われています。また、暗いニュースが毎日のように流れ、子供たちのみならず社会全体が閉塞感に覆われているのは多くの識者が指摘するところです。

この閉塞された時代だからこそ、幼い頃から純粋な夢を抱き、その夢を追い続け、数々の苦難を経験しながらも、夢を達成し、そしてなおも新たな夢を追い続けている大家選手の言葉は、一人一人の子供たちにきっかけを与えるのではないのでしょうか。世間の評価を覆しメジャーリーグに復帰し1000イニングを達成した今年だからこそ、大家選手の言葉はより説得力を持って、子供たちの心に深く響くことでしょう。

「夢は変わってもいい。別の夢を追い求めればいい」、「自分が変われば相手が変わり、世界が変わる」、「人生を生きる上で、夢を生きがいに生きていけば、辛いことなどない」、このようなメッセージを子供たちに伝えることが、どれだけ彼らの生きる上での勇気となるでしょうか。

大家選手は語っています。「このドリームツアーを通じて、今すぐにはわからなくても、後々自分の力になるようなものを1つでも2つでも構わないので、掴んでもらえたら僕もうれしいです」と。

勇気を持って果敢に夢にチャレンジする子供が一人でも増えたら、この社会はどれほど活気づくでしょうか。

子供たちが生き生きと生きていくことができる社会を創ることこそが、我々大人にとっての責務ではないのでしょうか。

「誰もが勇気を持って夢にチャレンジできる社会」を、一緒に創りませんか？





### 大家友和ドリームツアーの未来展望

大家友和ドリームツアーには、過去8年間で91名の子供たちが参加しています。

ツアーを経験した卒業生たちとは、同窓会や公式ブログなどを通じて、交流を深めています。

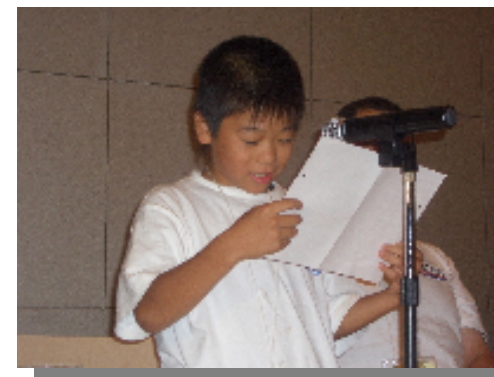
ツアー卒業生が共通して話すこと、それは「ツアーで夢を持つことの大切を学んだ」ということです。わずか1週間のツアーですが、この短い間で経験したことが、その後の彼らの人生の糧の一つとなっています。

大家友和ドリームツアーでは、ツアーを経験した子供たちが、自分だけのためではなく、自分の友達や周りの人たちにも、胸を張ってツアーで感じた「夢を追い続けることの大切さ」を伝えていってほしいと思っています。自分自身のためにも、そして他者のためにも。

「夢を追い続けることの大切さ」

このメッセージを抱いた人たちで、大きな家族を作り、友愛の輪(和)を広げていきたい。そして、社会を活気のあるものにしたい。

これが、大家友和ドリームツアーの未来展望です。



夢を中心に大きな家族を創り、友愛の輪(和)を広げたい

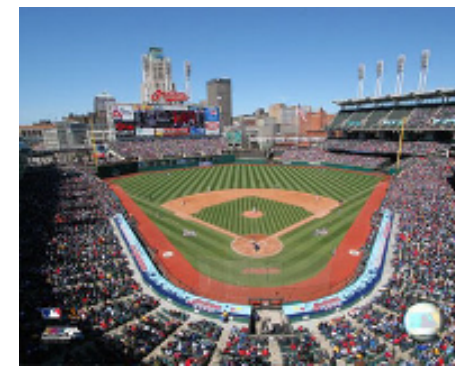
## 大家友和ドリームツアー2009



大家友和ドリームツアー 2009

### 大家友和ドリームツアー2009 開催要項

1. 名称 大家友和ドリームツアー2009
2. 主催 大家友和ドリームツアー2009 実行委員会
3. 開催日程 2009年8月19日(水)～8月24日(月) 4泊6日※予定
4. 開催場所 米国 オハイオ州 クリーブランド
5. 内容 大家友和選手(クリーブランド・インディアンズ)との交流  
夢を追って奮闘している方による夢教室(夢の大切さを伝える対話会)  
メジャーリーガー達との交流  
メジャーリーグ試合観戦  
現地の人々との文化交流
6. 参加者 児童養護施設に住む子供たち 若干名  
・自分の夢に向かって頑張ろうとしている人
7. 応募要項 7月から募集開始
8. 連絡先 大家友和ドリームツアー2009 実行委員会  
〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉2丁目35-27 真心ビル1F  
NPO法人 Field of Dreams内  
電話:077-566-8016/FAX:077-566-8019  
公式HP:<http://field-of-dreams.jp/dream-tour/>



<インディアンズ本拠地 プロGRESSIVフィールド>



<過去のツアーより 大家選手を応援する子供たち>





### 大家友和ドリームツアーとは？

2001年から始まり、今年で9回目を迎える大家友和ドリームツアーは、毎夏に子供達をアメリカに招待し、大家選手との触れ合いを通じて、夢を実現する努力の大切さ、素晴らしさを伝えています。

#### ◎ツアーが始まったきっかけは？

◆大家選手が、自身の経験を踏まえ、夢を追い続けること、そして挑戦することの大切さを子供たちに伝えたい、という思いから始まりました。

#### ◎どういう子供たちが参加しているの？

◆全国の小学4年生から高校生までの子供たちがツアーに参加しています。

#### ◎ドリームツアーのメッセージとは？

◆自分を信じ、自分の意志で自分自身の人生を切り開き、勇気をもって夢にチャレンジすることは価値がある、ということです。

#### ◎ドリームツアーでは、どういうことをしているの？

◆大家選手との交流、夢をテーマにしたプログラム「夢教室」の実施、そして現地の方々との交流などを行っています。

#### ◎ドリームツアーを通じて達成したいことは？

◆ツアーがきっかけとなり、自分の夢を真剣に考え、そしていつまでも夢を大切にして生きていく子供たちを育むことです。そして、彼らが日本の未来を担う存在になっていくよう、ツアー後も彼らをサポートしていくことです。

# 大家友和ドリームツアー2009



## 大家友和ドリームツアーとは？ 過去の軌跡

大家友和ドリームツアー 2009

	開催都市	参加人数	主なツアー内容	備考
2001	ハートフォード モントリオール	8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大家選手との交流</li> <li>◆大家選手が完全試合をした球場を訪問</li> <li>◆地元の子供たちと文化交流</li> <li>◆NBA選手主催のバスケットボールクリニックに参加</li> </ul>	大家選手がツアー直前にトレードになる
2002	フィラデルフィア	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大家選手との交流</li> <li>◆大家選手が完全試合をした球場を訪問</li> <li>◆地元の児童養護施設を訪問し文化交流</li> </ul>	大家選手、子供たちの前で勝利投手になる
2003	ロサンゼルス	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大家選手との交流</li> <li>◆竹岡選手（現ソフトバンクホークス）との交流</li> <li>◆ハリウッド女優を目指し挑戦し続ける小川けいさんとの交流</li> <li>◆全米日系名博物館を訪問し日系名の歴史を学ぶ</li> </ul>	当時米国マイナーリーグでプレーしていた竹岡選手も参加
2004	ニューヨーク フロリダ	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大家選手との交流</li> <li>◆米国で活躍している日本名ダンサー国澤はるなさんとの交流</li> <li>◆ケネディスペースセンター見学</li> </ul>	ツアー中、大家選手は右手骨折のリハビリ中であった
2005	ミルウォーキー	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大家選手との交流</li> <li>◆NFLチアリーダー小島智子さんとの交流</li> <li>◆地元の子供たちとソフトボール大会</li> <li>◆シカゴベアーズ訪問</li> </ul>	大家選手、子供たちの前で勝利投手になる
2006	ミルウォーキー	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大家選手との交流</li> <li>◆地元の子供たちとソフトボール大会</li> <li>◆NFLチアリーダー小島智子さんとの交流</li> </ul>	この年より大家選手と子供たちによる1対1の対話会を実施
2007	シアトル	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大家選手との交流</li> <li>◆地元の子供たちとソフトボール大会</li> </ul>	戦力外通告により、ツアー実施時は大家選手は無所属であった この年より名称をチャリティーツアーからドリームツアーに変更
2008	シャーロット	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大家選手との交流</li> <li>◆地元の中学校を訪問</li> <li>◆クリスマスビークリムを訪問し、ドーナツ作り体験</li> <li>◆スタッフ、ゲストによる夢教室を開催</li> </ul>	大家選手、子供たちの前で勝利投手（3A）になる

合計参加人数 91名



## 大家友和ドリームツアーとは？ 主なプログラム

大家友和ドリームツアー 2009

ツアーの理念実現のため、ドリームツアーでは、現地に夢をテーマに様々なプログラムを展開しています。

### 大家選手との交流



ドリームツアーのハイライトである大家選手と子供たちの交流。

食事会や1対1の対話会を通じて、大家選手と子供たちが絆を深めます。

対話会では、お互いの夢や人生について語り合い、子供たちは緊張しながらも自分の気持ちや悩みを大家選手に打ち明け、それに対して大家選手は自分の経験を通じて真摯にアドバイスを送ります。

### 夢教室



米国で夢に挑戦している日本人や同行スタッフが夢先生となり、子供たちへ夢を題材にしたお話をする「夢教室」。夢先生が自分の半生や経験を通じて夢を持つことや夢を追うことの大切さを伝えます。

ツアーに参加した子供たちは、様々な人の人生に触れ、人生の可能性に感じることのできるプログラムです。

### 文化交流



ドリームツアーでは、毎年子供たちと現地の方々との交流を行っています。地元の老人ホームへの訪問や日系人の方々との交流を行っています。

子供たちは、言葉が通じない中、コミュニケーションの難しさと大切さを学びます。ジェスチャーや知っている単語を並べての会話などを通じて、コミュニケーションの楽しさも体験します。

# 大家友和ドリームツアー2009



大家友和ドリームツアー 2009

## ツアー卒業生達とのつながり

ツアーでの経験を風化させないために、そしてお互いの現在位置を確認するために、ドリームツアーでは、ツアー後も参加者達とのつながりを大切にしています。

ツアー親睦会 @横浜  
(2008年3月18日)



2008年3月に2004年ツアー参加の根岸くんと林さんが発起人となり、親睦会を開催。

関東地区の卒業生が集まり、野球観戦、横浜観光、夕食会を通じて交流を深めました。同期だけでなく、他の期の卒業生達の親交も深まったのが印象的な会でした。



第2回 ツアー同窓会  
(2009年2月1日)



2009年2月に、京都にて第2回ツアー同窓会を開催。

関西地区の1期生から8期生までの卒業生が集まり、近況報告やツアーで学んだことの振り返りなどをして、親交を深めました。当日は、大家選手も参加し、卒業生たちと久しぶりの再会を楽しみました。



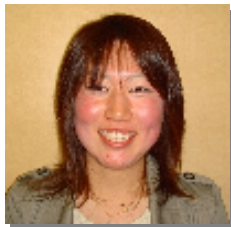
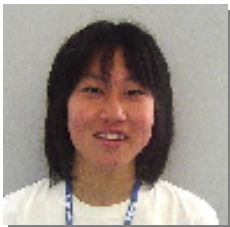


## ツアー卒業生達とのつながり

大家友和ドリームツアー 2009

ツアーでの経験は、卒業生達のその後の人生にどのように活かされているのでしょうか。

石井 百合子 (いしい ゆりこ) さん



○参加年: 2005年

○現在:

立命館大学  
生命科学部 1年生

<ツアー当時: 15歳>

<現在: 19歳>

### 「現在の私」

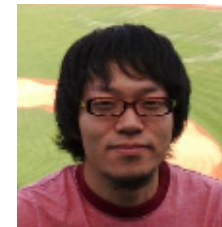
私は中学校3年生の頃にドリームツアーに参加しました。あれから立命館守山高校に入学し、去年卒業しました。

現在は立命館大学、生命科学部生物工学科の1年生です。部活動にも所属しており、女子ソフトボール部で一生懸命活動しています。今年はインターカレッジに出場します。ツアーを終えた今でも、大家選手が作った団体であるNPO法人 Field of Dreams (FOD)の皆様に大変お世話になっています。今年から、FODの学習塾「スタディールーム」の講師として大家選手の活動のお手伝いをさせていただいています。中学生の子供たちに勉強を教えることは難しく、悪戦苦闘する日々ですが、子供たちの力になれるように頑張っています。

勉強に部活にスタディールームの講師と、忙しい毎日を送っています。しかし、自分のやりたいことをやらせてもらえることに感謝しています。

私の夢は中学校の教師になることです。そのために大学では学びを深め、理科の教員免許を取るために努力しています。部活動でも、将来指導者になるために幅広い知識を身につけていきます。また、スタディールームの講師としての取り組みは、教師を目指す私にとっても大変有意義なものであると考えています。教師を目指す最大の目的は、子供たちに「夢を持つことの大切さ」を伝えることです。私が大家選手やスタッフの皆様から教わったように、今度は私が子供たちに伝えていきたいです。大家選手やスタッフの皆様、またツアーに参加した仲間も夢を叶えるために努力しているので、私も一生懸命頑張っていきます。

根岸 慎 (ねぎし まこと) 君



○参加年: 2004年

○現在:

関東学院大学 大学院  
文学研究科 修士課程

<ツアー当時: 18歳>

<現在: 23歳>

### 「現在の私」

「失敗したときは落ち込んだりすると思うんですけど、大家さんはどうやって落ち込みを克服しますか?」。そんな僕の質問に対して、「落ち込むことなんてない。物事がうまくいかなくても、どうしたらうまくいくようになるかしか考えてない」。これは今でも僕の背中を押してくれる大家さんの言葉です。

ツアーに参加した当時は夢もなく、いつも落ち込みがちで挑戦するまえから何事にもあきらめていました。しかし、ツアーに参加して大家選手、全国から集まった「仲間」、ツアースタッフの方々、アメリカで活躍する日本人の方々に出会ったことで自分の価値観が変わりました。

学内選抜を通過して実現した米国留学、留学前で時間がなかったにもかかわらず完成させることができた卒業論文、ゼミでの勉強の日々、アルバイトでの責任者業務、友人との貴重な出会い、思い出。大学4年間を目標を持って充実して送ることができたのは大家さんの言葉、ツアーでパワーをもらったおかげだと今でもつくづく思います。

現在は、大学院で学部生時代に引き続き英語音声学の勉強を主に、日英の音体系の比較、研究を行っています。いつかは自分が参加する子供たちに勇気を与えられる存在になりたいです。

子供に夢がないと叫ばれている昨今、このツアーでたくさんの夢、希望を持つ子供が生まれてくれることを願っています。



### ドリームツアーにおける主なメディア露出

#### TELEVISION

- ◆NHK 「メジャーリーガーの群像 大家友和 夢をあきらめない」 2004年12月オンエア
- ◆NHK BS 「BSスポーツウイークリー」内で特集 2005年9月オンエア
- ◆RKK熊本放送 「夢のフィールドで ～大家友和チャリティーツアー2006～」 2006年10月オンエア
- ◆Fox This Week In Baseball(TWIB) 米国メジャーリーグ専門番組 2006年10月オンエア
- ◆テレビ朝日系列 「サンデープロジェクト」内で特集 2006年12月オンエア
- ◆RKK熊本放送 「夢のフィールドで～大家友和、子供たちとの対話～」 2007年10月オンエア
- ◆テレビ朝日系列 「サンデープロジェクト」内で特集 2007年12月オンエア
- ◆RKK熊本放送 「夢・追いかけて～大家友和ドリームツアー2008～」 2008年10月オンエア

#### MAGAZINE

- ◆月刊メジャー・リーグ(2006年10月号) 特集記事(カラー4ページ)
- ◆週間SPA!(2006年9月19日号) 特集記事(モノクロ5ページ)



## 運営団体 NPO法人 Field of Dreams(FOD)のご紹介

### ■団体概要

- 名称  
NPO法人 Field of Dreams
- 所在地  
〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉2丁目35-27 真心ビル1F
- 名誉会長  
大家 友和(クリーブランド・インディアンズ所属)
- 代表者(理事長)  
中村 豪
- 事業内容  
スポーツクラブ運営事業  
スポーツスクール事業  
国際人材交流事業  
学習塾事業  
スポーツイベント企画事業
- 連絡先  
TEL:077-566-8016  
FAX:077-566-8019  
Email:info@field-of-dreams.jp  
Website: http://www.field-of-dreams.jp

### ■名誉会長 大家友和



京都成章高校を経て1991年、ドラフト3位で横浜ベイスターズに入団。1年目に初勝利を挙げるなどエースとして期待されたが、メジャーへの夢を抱き切れず、1998年に横浜を退団。その後、単身渡米し、好成績を残しマイナーからメジャーへ昇格。メジャー昇格後は、利き腕の骨折など苦難を乗り越えながら3度の2桁勝利やメジャーリーグ通算50勝などの輝かしい成績を残している。現在、クリーブランド・インディアンズとマイナー契約を結んでいる。

2003年からはシーズンオフを利用して立命館大学経営学部に通い、また2004年にはスポーツを通じて社会貢献を目的としたNPO法人Field of Dreamsを立ち上げるなど、グラウンドの外でも勢力的に活動している。



### FODの活動紹介

#### 大家友和ドリームツアー

大家友和ドリームツアーは2001年に「日本の若者に夢を持って生きてほしい、夢を追い続けてほしい」という大家選手の思いからスタートしました。ドリームツアーでは開始以来、毎年夏に子供たち(主に児童養護施設に在る)を大家選手がプレーするアメリカに招待しています。現地では、子供たちに、大家選手との交流や夢をテーマとした様々なプログラムを体験してもらい、自分の夢と向き合うきっかけ作りをサポートしています。今から11年前、メジャーリーグを目指し単身渡米し、マイナーリーグからメジャーリーグの大舞台に駆け上がった大家選手を支えたのは「夢」でした。大家選手と私たちは「夢」が与えてくれるエネルギーの大きさを信じ、ドリームツアーを通じて子供たちに「夢」の大切さを伝えていきます。

過去8回の開催で、参加した子供たちの数は91名となりました。私たちは、今後もドリームツアーを通して、1人でも多くの子供たちに「夢」の素晴らしさを感じてもらいたいと考えています。



#### 草津リトルシニア・パンサーズ

草津リトルシニア(愛称:パンサーズ)は、プロ野球選手・大家友和(おおかともかず)選手がゼネラルマネージャーを務める中学生硬式野球チーム(リトルシニア連盟に所属)です。大家友和選手の「子供たちに正しい野球を伝えたい」という思いから発足し、どこにおいても勝れるチーム、地域の人の協力し、町の象徴となるチームを目指しています。選手たちには、夢を持ちそれに向かって努力すること、笑顔で楽しむこと、また感謝の気持ちを持ってプレーすることを学んでほしいと思ひ、活動を行っています。

新部6年目となる現在、所属選手は80名を超え地域最大のチームとなりました。チームの目標を全国制覇と掲げ、選手一人一人が自分の夢や目標に向かい、一生懸命に白球を投げかけています。

<主な実績>

- リトルシニア日本選手権大会 3回出場 (2005、2006、2008年)
- リトルシニア全国選抜大会 2回出場 (2008、2009年)
- 中学生硬式野球 No.1 決定戦ジャイアンツカップ2006 全国準優勝



#### 立命館大学協定授業

NPO法人Field of Dreamsでは、立命館大学と協定し「地域スポーツクラブの育成」を申請しています。協定授業では、FODの活動を教材としながら、地域スポーツクラブの社会的な位置づけや果たすべき役割を学習し、現在の社会において必要とされる地域スポーツクラブ像を考察することを目的としています。

受講生は、草津リトルシニアの運営状況を調査した調査報告書や広報誌の作成などを通じて、地域スポーツクラブの位置づけを学ぶと同時に、地域の少年野球チーム(約200名参加)を招待した野球大会「OHKA CUP」の運営などを通じて、社会において役に立つ実践力を養います。



#### FOD Baseball アカデミー

NPO法人Field of Dreamsでは、小学生を対象に野球の技術サポートを行う野球塾「FOD Baseball アカデミー」を開校しています。

滋賀県草津市にあるミナミ草津バッティングドームを会場として行われているFOD Baseball アカデミーは、少人数制の指導で選手個々にあったバッティングフォームや身体の使い方を教えています。また、挨拶や礼儀も重視し、心身両面に渡って子供たちの成長をサポートすることを目的としています。



#### FOD スタディールーム

NPO法人Field of Dreamsでは、草津リトルシニア・パンサーズ所属選手を対象とした学習塾「FOD スタディールーム」を開校しています。

創部以来、文武両道を方針として活動しているパンサーズでは、選手への勉強に対する意識付けだけでなく、より具体的に文武の「文」の部分をサポートしたいと思ひ、2009年春にFOD スタディールームを開校致しました。

FOD スタディールームは、少人数制の学習塾で基礎学力養成による学力アップを目的としており、その過程において勉強の習慣づけ、しつけ、そして自立心養成を主眼に置いて授業を進めています。

